

アコースティックとデジタルの出会い ～ピアノ協奏曲による邂逅～



【講師・演奏 赤松 林太郎】

1990年全日本学生音楽コンクール第1位、2000年クララ・シューマン国際ピアノコンクール第3位など多数受賞。神戸大学を卒業後、パリ・エコール・ノルマル音楽院にてピアノ・室内楽共に高等演奏家課程ディプロムを審査員満場一致で取得。国内各地の主要ホールはもとより、アメリカ、ロシア、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オーストリア、ハンガリー、台湾、コロンビアなどを公演で回る。

近年では2013年よりウィーン各地で室内楽コンサートを開始、2013年秋にデュッセルドルフにてリサイタル、2014年春に生前のバルトークが使用したピアノ（ハンガリー科学アカデミー所蔵）でリサイタル、また2015年春はドナウ宮殿におけるドナウ交響楽団との共演を成功させ、夏はミラノでソロリサイタル、秋はブダペスト、ウィーンにて公演。2017年春は再びドナウ交響楽団と共演。キング・

インターナショナルから《ふたりのドメニコ》（レコード芸術準特選盤）、《ピアソラの天使》、《そして鐘は鳴る》（準特選盤）をリリースして各誌で絶賛される。初の著書《赤松林太郎 虹のように》を道和書院より発刊。1,000名以上の指導に携わり、多くの受賞者を輩出している（PTNA特級グランプリ・銀賞・銅賞、東京音楽コンクール優勝他）。各地で開催される講座でも好評をおさめ、エッセイストとしては新聞や雑誌にも連載を持っている。第1回よりダヌビア・タレント国際音楽コンクール（ハンガリー）の審査員長を務める。

一般社団法人全日本ピアノ指導者協会評議員、演奏研究委員。ブダペスト国際ピアノマスタークラス講師、洗足学園音楽大学客員教授。

●ホームページ: <http://rintaro.jp/>

【ソリストのプロフィール】

アイウエ順



井内沙織

札幌会場

3歳でピアノ、4歳でヴァイオリンを始める。第20回日本クラシック音楽コンクール地区本選優秀賞。第21回、第22回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選。第16回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA札幌地区大会金賞、アジア大会努力賞受賞。2015～2016年、派遣交換留学生としてヴェルツブルク音楽大学（ドイツ）に留学。これまでにピアノを館村たつ子、Inge Rosar、水田香の各氏に師事し、Trefor Smith、Bernd Glemser、Michael Schäferの各氏のレッスンを受講。歌曲伴奏をAlexander Fleischer氏、室内楽を阿部博光、Friederike Kienle、Denise Benda、長岡聡季、ヴァイオリンを山同直樹、内田輝、Sören Uhde、長岡聡季の各氏に師事。現在、北海道教育大学岩見沢校芸術課程音楽コース4年在学中。



神津かおり

大宮会場

国立音楽大学附属中学校・高等学校を経て、東京音楽大学ピアノ演奏家コースを特待奨学生として学び卒業。ビティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会G級金賞・連弾上級第1位。ショパンコンクール in ASIA大学生部門とコンチェルト部門にて最高位。ザイラー国際ピアノコンクール in JAPANシニア部門にて奨励賞。2010年～2011年「丸の内ビル・35ロビーコンサート」「新丸の内ビル・アトリウムコンサート」の定期ピアニストを務める。2012年よりこどものうた会楽団「かぼちゃの馬車音楽隊」ピアニストを務め、全国各地にてファミリーコンサートを開催中。現在は独奏と伴奏、音源録音などの演奏活動を行う傍ら、後進の指導にも取り組んでいる。



釜場美結

横浜会場

兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、大阪音楽大学演奏家特別コース卒業。第12回宝塚ベガ学生コンクール大学生部門奨励賞、第23回日本クラシック音楽コンクールピアノ部門大学生女子の部第5位。御影 Concert House Live Series Vol.1、第2回音楽のひろばに出演。ソロ、アンサンブル等幅広く活動している。現在、洗足学園音楽大学大学院1年に在学中。赤松林太郎氏に師事。



下谷内李紅

横浜会場

苫小牧市出身。駒澤大学附属苫小牧高等学校卒業後、洗足学園音楽大学ピアノコース1年在学中。第43回ワイ音楽コンクール北海道本選ピアノソロBコース最優秀賞（全国大会入選）、2010日本音楽指導者協会ピアノコンクール北海道大会最優秀賞及び北海道新聞社賞、第2回東京ピアノコンクール小学高学年部門第1位、第14回ショパン国際ピアノコンクール in ASIAコンチェルト部門アジア大会銅賞、ビティナ全国決勝大会E級ベスト賞・連弾上級ベスト賞。ハンガリー・国立リスト・フェレンツ音楽大学にて「ブダペスト国際ピアノマスタークラス」受講し、ドナウ宮殿にてドナウ交響楽団との「コンチェルトの夕べ」に出演。これまでに楠雅子氏、現在は赤松林太郎氏に師事。



岡崎清香

広島会場

5歳より母の手ほどきでピアノを始める。エリザベト音楽大学に特別奨学生として入学。第24回日本クラシック音楽コンクール高校生女子の部全国大会第3位。ショパン国際ピアノコンクール in Asiaにおいて、第17回高校生の部アジア大会銀賞、第18回大学・一般部門アジア大会銀賞。第41回ビティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会デュオ部門連弾上級金賞。ピアノを重野美樹、赤松林太郎、垣内敦、横山幸雄の各氏に師事。ソルフェージュを川岡優子氏に師事。現在、エリザベト音楽大学2年在学中。



土師さおり

福岡会場

武蔵野音楽大学大学院修士課程を修了。デトモルト音楽大学ドルトムント校およびロベルト・シューマン・デュッセルドルフ音楽大学を卒業。アルヌルフ・フォン・アルニム、ロベルト・シドンの各氏に師事。ドイツ国家演奏家資格を取得。2012年にカーネギーホールにて出演。第21回イブニング大賞（イタリア）において最優秀賞併せてラヴェル特別賞を受賞。帰国後は現代音楽作品の日本初演など、各地で積極的に公演活動を行っており、日本ショパン協会主催「バウゼン」シリーズにてソロリサイタル、PTNA公開録音コンサートにて音源提供、別府アルゲリッチ音楽祭新人演奏会、Evmelia International Music Festival（ギリシア）、Alba音楽祭（イタリア）、バンコクで開催されているタイ・ショパンピアノコンクールの審査員にも招かれるなど、マスタークラスやコンサートに出演。



折居吉如

福岡会場

4歳よりピアノを始める。第50回北九州芸術祭クラシックコンサートグランプリおよび福岡県知事賞受賞。第33回飯塚新人音楽コンクールにて史上最年少で第2位受賞。第49回フランチ・リスト国際ピアノコンクールのセミファイナリスト。第21回浜松国際ピアノアカデミー修了。現在までにピアノを関野直樹、故・宝木多加志、武内俊之、永野栄子の各氏に師事。ケマル・ゲキチ、カールマン・ドラフィ、高雄有希、鈴木弘尚氏のマスタークラスにて指導を受ける。



早坂有里亜

仙台会場

仙台市出身。常盤学園高等学校音楽科を卒業。東京音楽大学器楽専攻を経て、修士課程鍵盤楽器研究領域（ピアノ）1年在学中。2003～2009年ビティナピアノコンペティションB.D.E級全国決勝大会入選。第21回「夢コン」グランコンチェルト部門優秀演奏賞（1位）。第4回ヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan大学・一般A部門銅賞。第15回東北ショパン学生ピアノコンクール大学生部門銅賞。第1回ダヌビア・タレント国際音楽コンクールピアノ部門（ハンガリー）ディプロマ。2016年度東京音楽大成優秀者による春の演奏会、及び卒業演奏会に出演。これまでにワルシャワ、ニース、ブダペストにて出演。これまでにピアノを土山真理子、平岡百合子、一柳麻衣、一柳和男、現在は鷺見加寿子、後藤美由紀、吉田友昭の各氏に師事する。